共生委員会ニュース

ともしび

2021年10月　第2号

共生・探究学習委員会



宮古の方々に贈るマスク作りの様子

グローバルウィーク開催！

今年度も平和共生についての考えを深める「グローバルウィーク」が開催されます。
例年高等部独自のプログラムで執り行ってきましたが、今年度は青山学院全体の動きと連動し、様々な取り組みを実施します。

本格的な開催に先がけ、9月29日（水）、大学17号館にて「ユーモアイラストで楽しくひも解くSDGs」が開催され、高等部からも有志生徒と授業で参加した人合わせて84名の生徒が参加しました。
基調講演の後に質疑応答の時間が持たれ、高等部生の意欲的な姿が見られました。

その後の振り返りでも、「なじみの薄いSDGsの知識をイラストで学ぶことも面白さを発見できた」「日本においてできることは何か考えされられた」等、様々な感想が寄せられました。







《グローバルウィーク　日程》

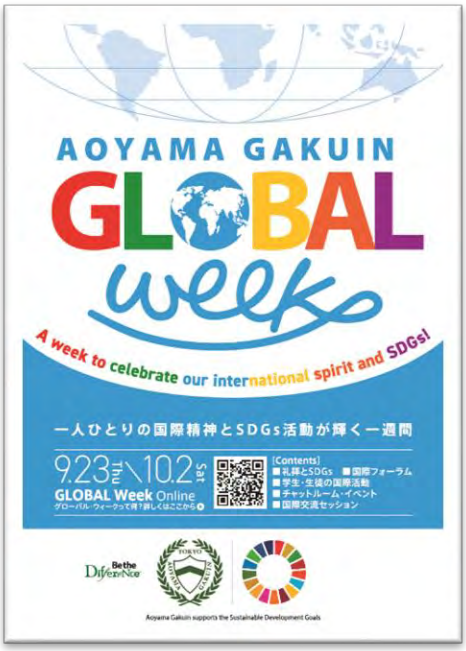
10 月 4 日（月）
【礼拝】シュー土戸ポール先生「神の目から見る人間」

10 月 5 日（火）
【礼拝】O.K.さん（67 期）「コロナ禍においても求め続けること」
【昼の放送】O.K.さん「OSEC(Online Sexual Exploitation of Children)」

10 月 6 日（水）
【礼拝】S.Y.（3 年）「ハンセン病の方との交流を通して」
【昼の放送】宮古訪問プログラム

10 月 7 日（木）
【礼拝】T.C.（3 年）「まず知ること」
【昼の放送】ブルーペコ　＋　青山セカンドチャンス

10 月 8 日（金）
【礼拝】桃井和馬先生「宗教が理解できないと、世界は理解できない」
【昼の放送】桃井和馬先生「SDGs が意味する本当のこと」



文化祭 with 宮古

例年であれば、宮古北高校の生徒が来校し、高等部の文化祭を楽しんでもらっていますが、今年度はそれもかないませんでした。
しかし宮古プログラムメンバー、生徒会、文化祭実行委員会が協力し、1 階エントランスで宮古の海藻類と宮北×青学コラボグッズの販売、3階多用室西での活動紹介といったブースを開くことが出来ました。ご購入下さった皆様、ありがとうございました。





宮古プログラム　夏休み交流イベント

３年　F.K.

８月５日木曜日、私たちは宮古訪問プログラムに参加しました。例年は宮古へ行き、２泊３日で復興の現場や被災者の方々とお話をするという体験プログラムでしたが、コロナウイルスの感染拡大により、学校に集まり、オンラインでの開催となりました。

プログラムの最初は、宮古復興プログラムに参加しており、青山学院高等部の卒業生でもある谷さんが、現地の写真や復興活動の現状報告をしてくださいました。写真にはボランティアの大学生や現地の子供たちが写っていて、みんなとても楽しそうな笑顔を見せており、私もぜひそこに参加してみたいと思いました。

次に、オンラインを通して「学ぶ防災」のボランティアガイドである佐々木さんから、宮古田老市の被災当時の状況や、現時点での復興の様子、また被災を通して考えたこと、大事だと思ったことなどを約１時間にわたり講演していただきました。〈まずは自分の命を守る〉という意味の、東北地方に伝わる方言の「てんでんこ」や、防波堤と言うのは、波から土地を守るのではなく、人が避難するための時間稼ぎをするものであるなど、普通に生活していたら知り得ないようなことを教えてくださいました。

また、津波が街の建物を含むすべてを飲み込んでいく様子を、明らかに逃げるべきだと思われる場所にいるのに、逃げることもできずにただ眺めるだけの人たちの動画を特別に拝見させて頂きました。それはニュースやインターネットでは見たこともない、よりリショッキングな映像で、心が無になるような感覚に陥ったのを今でも鮮明に覚えています。

そして最後に、正常化の偏見、集団同調バイアス、エキスパートエラーという３つの言葉を軸に、震災で学んだことを話してくださいました。お昼の休憩時間には、各自が家から白米を持ち寄り、宮古の特産品である瓶ドンや磯とろろスープ、イカせんべいをいただきました。特に瓶ドンは、とても新鮮で美味しくて、「産地直送」という言葉の凄さを思い知らされました。参加生徒からも幸せだよオーラがガンガン伝わってきました。





午後には、宮古北高校とのオンライン交流会を行いました。そこでは行ってみたい場所や、ぜひお勧めしたい場所、最近ハマっているものなど、隣にいるかのような感覚で、色々なことを話しました。 また、震災に関連し、地域との繋がり方の違いや、地域コミュニティの機能に関して意見を交わすことが出来ました。宮古　高校の方々はとても元気で、オンラインとはいえ直接お話しすることができたことは、とても良い思い出になりました。

今回は、宮古に行く事はできませんでしたが、オンラインだからこそ、会話に集中することが出来、私も積極的に意見を伝えることが出来ました。そして、東京に住んでいる私たちが普段はあまり意識することのなかった震災や復興について、今回のプログラムを通してより身近な問題であると感じることのできる貴重な機会だったと思います。

